

五霞町地域防災計画を改定しました

計画改定の背景

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、この地震による津波は、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

また、震災後には物流ネットワークの寸断による一時的な生活必需品の買占め、ガソリンなどの燃料不足による混乱や、電力不足による計画停電など、その影響は被災地だけでなくどまらず、首都圏をはじめ全国に波及しました。

さらに、地震に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の流出は、さまざまな分野で甚大な被害と広域的な影響を与え、事故の収束と復興復旧に長期間を要することが予測されています。

また、近年、異常気象による集中的な豪雨による浸水や洪水等の自然災害などの危険性が高まっており、従来にも増して、風水害に対する対応の強化が求められています。

今回の大震災を契機として、

国や茨城県においては防災基本計画や茨城県地域防災計画の見直し・改定が行われ、今回、五霞町地域防災計画についても、これまでの防災対策を見直し、地域住民の生命、身体、財産を守るために必要な改定を行いました。

五霞町地域防災計画の構成は、8編で構成しております。主な計画改定については、次のとおりです。

計画改定の主な内容

【地震災害対策計画編】

①防災体制の強化

・東日本大震災の教訓から、役場の活動体制の強化や、消防団、自主防災組織の強化育成、企業の防災意識や防災体制の強化促進するために見直しました。

②被害軽減対策の充実

・災害の被害軽減に向けての取り組みや、各施設・機関の電源や燃料の確保などを強化するために見直しました。

③被災者支援体制の充実
・被災者の生活を支援するた

め、避難所の整備や運営、食料や生活必需品の備蓄、高齢者や障害者などの災害時要援護者対策について十分に配慮し、避難者等の心の健康管理の充実を図るために見直しました。

④帰宅困難者対策

・地震発生直後の災害対応を円滑に行う必要があるため、むやみに移動しないことを原則に企業などの必要な取り組みや備蓄等を促進することを新たに追加しました。

⑤燃料対策

・災害時に重要となる防災拠点施設の燃料を迅速に実施するための対策を新たに追加しました。

【風水害対策計画編】

①気象情報等の見直し

・気象庁による防災気象情報の見直しに合わせて注意報・警報等の発表方法や基準等の変更を行いました。

②避難勧告等の判断基準の明確化

・水害等の避難準備情報、勧告、指示等の判断基準についての「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を新たに追加しました。

災害に備えて

災害から家族と自分の身をを守るためには、事前の準備と話し合いを持つ事が重要です。まずは、家からの避難場所、避難経路、はぐれた場合の集合場所・連絡網から決めておきましょう。また、被災時に我が家で必要な非常用品の中身を検討し、備えておく事も肝心です。もしものときに備え、正しく安全に行動できる準備を行っておきましょう。

【非常持ち出し品】

- 携帯用飲料水
- 食料 (カップ麺、缶詰、乾パン類など)
- 貴重品 (現金、通帳、印鑑など)
- 懐中電灯 (予備電池)
- 携帯ラジオ (予備電池)
- 救急用品 (包帯、三角巾、消毒液など)
- 筆記用具 (鉛筆、ノートなど)
- 衣類 (Tシャツ、ジャンパー、下着類)
- マッチやライター、ろうそくなど
- 軍手 (厚手の手袋) ヘルメット

※小さい子どもがいる家庭は

- ミルク、ほ乳びん
- 紙オムツ、ウェットティッシュ
- 肌着などの衣類

※五霞町地域防災計画の詳細については、町ホームページや総務課窓口で公表しておりますので宜しくお願ひします。

お問い合わせ

総務課 行政・防災G
☎(84)1111 (内線211)

